1. 教員紹介・主な研究分野

<自己紹介>

看護師として小児病棟・GCU に勤務後、平成29年度より本学に着任した。

小児病棟・GCU では、急性期から慢性期、内科から外科まで幅広い小児看護に携わり、子どもの成長や発達を促す看護について考え、実践してきた。特に、長期入院やターミナル期の子どもについては、入院しているために制限される遊びやお祝い事などを中心に、1人ひとりの子どもや家族の気持ちに寄り添い、両者の思いや願いをかなえる看護を創造することに力を注いできた。

<主な研究分野>

近年、医療技術の進歩により子どもの救命率は向上し、NICU を退院後、引き続き人工呼吸器や胃瘻を使用し在宅医療を受ける子どもは増加している。国の施策により地域包括ケアの整備が進み、在宅療養を行う人が増え、訪問看護利用者は年々と増加している。15歳未満の訪問看護利用者も同様に年々と増加し、令和元年には18,000人を超えている。

しかし、令和 5 年度における福岡県の子どもを受け入れている訪問看護事業所の割合は 35.6%であり、半数に及んでいない現状にある。子どもの訪問看護事業所の少ない理由の一つに【小児看護の知識・技術の不足】が報告されているが、その内容までは明らかにされていない。そのため、訪問看護師における子どもに関する知識や観察技術、アセスメントについての調査を進めている。

2. 研究業績

- ①最近の著書・論文
- ・ 梶原由紀子, 原田直樹, <u>田原千晶</u>, 松浦賢長(2022). 養護教諭の危機対応に関する研修についての 調査研究, 福岡県立大学看護学部紀要, 第19巻57-68.
- ・ 原田直樹, 梶原由紀子, 田原千晶, 増滿誠, 松浦賢長, (2022). 元不登校児童生徒とその保護者の不登校をめぐる意識差と家族機能についての研究, 福岡県立大学紀要, 第19巻1-12.
- ②その他最近の業績
- ③過去の主要業績
- 3. 外部研究資金
- 4. 受賞
- 5. 所属学会 日本看護協会、日本保健福祉学会
- 6. 担当授業科目(補助)

暮らしと保健福祉・2単位・1年・後期,チーム医療論・1単位・1年・後期,暮らしを知る実習・1単位・1年・後期,基礎看護学実習Ⅱ・2単位・2年・通年,家族看護学・1単位・2年・前期,暮らしの中の看護を知る実習・1単位・2年・前期,小児看護学・2単位・2年・後期,地域・在宅看護論・2単位・2年・後期,在宅看護学演習Ⅱ・2単位・3年・後期,小児看護学実習・2単位・3年・後期,小児看護学実習・2単位・3年・後期,

7. 社会貢献活動

放送大学看護師国家試験学習支援ツール分担製作者(2023年)

- 8. 学外講義・講演
- 9. 附属研究所の活動等